



翔子

発行：地域力推進久が原地区委員会  
 編集：地域情報紙「くがはら」編集委員会  
 事務局：大田区久が原特別出張所  
 〒146-0085 大田区久が原4-12-10  
 TEL(3752)4271 FAX(3752)4514

久が原地区管内

<人口>	<世帯数>
男 14,219人	13,950世帯
女 15,048人	
計 29,267人	令和5年6月1日現在

vol.131 ・ since 1990

新任のごあいさつ

久が原南自治会長

今富 祥雄



もとの日常に戻りたく

いよいよコロナ禍からの脱却が見えつつあります。100年に一度のパンデミックということでしたが、当初は思いもよらなかつた3年を超える長いブランクとなつてしまいました。これからもリバウンドへの警戒を怠つてはいけません。これまでのような近所の方々のつながり、および自治会活動を一日も早く取り戻せるよう、そして、これまで以上に活発になるよう努めていきたいと思ひます。

第1回

久が原の自治会（5回シリーズ）

## 道々橋自治会

### 「広報紙」で情報伝達

自治会の役割のひとつに「地域や行政の情報を伝達」があります。

方法としては、回覧板・自治会掲示板・チラシ配布での情報提供がありますが、新型コロナウイルス感染症禍で「非接触」「外出自粛」のご時世となり、今までの情報伝達の見直しが必要となりました。時代にあわせ、自治会の運営や活動を自治会会員の皆さまに理解してもらうには、こちらから働きかけを行うことが重要となります。

そこで、コロナ禍の2021年6月に広報紙『どどばし自治会通信』の創刊号を発行いたし



ました。

「欲しい情報がきちんと入っていて誰でも読める」広報紙と、『おた区報』『地域情報紙くがはら』をセットにして全世帯の手元へお届けしております。これからも、しっかりと情報を伝え、読んでよかつたと思われる広報紙を目指します。

道々橋自治会長 飯田幸男

090-2554-1962



ながめま えつこ

## Series 久が原の人 45 長沼悦子さん

### 保育を通して園児からたくさん宝物を...



「動き出したよ小さなタマゴ、  
大きな夢もって生まれて来るよ、

この『タマゴのうた』を作つたのは30年前でした。3歳児クラスを受け持った夏のある日、ミカンの葉にアゲハチョウのタマゴを子供と発見！虫かごに入れてアゲハチョウ育てが始まりました。子供たちは毎日虫かごに話しかけては心ワクワク、ナーバスだった子が目を輝かせながら、真っ先に虫かごに

向かう姿は今でも目に浮かびます。

「ちょうちょうさんのご飯はなに？」  
「動かないよ？大丈夫？」

と、図鑑を見たりの毎日でした。

そしてチョウチョ誕生の瞬間！  
子供たちは身動きもせず真剣なまなざし、羽がゆっくり動き出すと拍手と歓喜の中、

「ちょうちょうさんがんばれ！」

その光景は今でも心に焼きついています。

この瞬間を記憶だけではなく、形に残したいと『タマゴのうた』が生まれました。

保育を通じて子供の研ぎ澄まされた感性に触れた日々は、私の心の宝ものです。子供の喜びや感動、言葉で表現できない心の葛藤に心を動かされながら歌を書きつづり、振り返るとたくさんの作品が生まれました。

親子の絆や子供たちの居場所のある地域が明日への活力になり、夢や希望を生み出していくと感じています。久が原の地域で保育士の経験を生かし、自身にできることを微力ながらお手伝いできればと、先ずは一歩いっぽ。



♡ 保育士のお仕事を通じて子供たちの心にもふれ、その感動を音楽活動で表現されているマルコナガマこと長沼悦子さんです。CD やコンサート、YouTube でその心の宝ものを発信されています♡

(星合典子)



久が原ルールを活かそう!

安否確認タオル

★災害時にタオルを出して、無事をお知らせ  
在宅している家族の無事を地域に知らせる目印です。

近助 災害が起きたら  
近所での助け合い

お向かいやご近所さんは大丈夫かな?

災害がおきるとみんな不安です。ご近所と声をかけあって、お互いに助け合おう!ふだんから気にし合える近所の仲は頼りになります。

避難が難しそうなあの人は大丈夫かな?

できる範囲で気にかけて!

避難に時間のかかりそうな方、ご近所にいませんか?大雨、台風の前には早めの避難を呼びかけて!災害が起きたとき、自分で避難が難しそうな人がいたら、周りで声をかけよう!

共助 地域での助け合い  
地域の安心、自治会で!

自治会では防災訓練を行っています。いざという時のため、シミュレーションをしておくこと安心。地域の協力体制があるっていいね、それが久が原地区!

発行: 久が原地区地域防災協議会  
事務局: 久が原特別出張所  
大田区久が原4-12-10  
電話: 03-3752-4271  
F A X: 03-3752-4514

チェックシート  
はコチラ



久が原の自然シリーズ ⑰  
紫陽花 (アジサイ)

梅雨から初夏にかけて、私たちを楽しませてくれるアジサイは、日本原産の落葉低木で、江戸時代末期にシールボルトらにより西洋に渡り、品種改良を重ねて西洋アジサイとして逆輸入されたそうです。毎年さまざまな色や形の新品種が次々に登場していますが、我が家ではこのアジサイを母の日に贈りました。「墨田の花火」「城ヶ崎」「ダンスパーティー」など素敵な名前とともに、その形や色を毎年楽しんでるものです。鉢植えから庭に植え替えると、



(星合典子)

ピンクの花はいつの間にかやが青に。アジサイの花は、土の酸性度によって青や赤系に変わるそうですが、どうやら我が家の庭は酸性が強いようです。さて、お宅のアジサイは何色でしょうか?

イベント情報

- ◆ヒルズ久が原クリーン大作戦  
【開催日】7月9日(日) 9時~  
【場 所】ヒルズ久が原
- ◆ヒルズ久が原打ち水・納涼の夕べ  
【開催日】8月5日(土)  
【場 所】ヒルズ久が原 中庭
- ◆道々橋自治会子ども会  
【開催日】8月26日(土)  
【場 所】道々橋八幡神社
- ◆久が原東部八幡神社例大祭  
【開催日】9月3日(日)  
【場 所】久が原東部八幡神社
- ◆道々橋八幡神社例大祭  
【開催日】9月9日(土)  
【場 所】道々橋八幡神社
- ◆久が原西部八幡神社例大祭  
【開催日】9月16日(土)・17日(日)  
【場 所】久が原西部八幡神社
- ◆ヒルズ久が原敬老祝賀会  
【開催日】9月18日(月・祝) 10時~  
【場 所】ヒルズ久が原管理棟多目的室

《問い合わせ先》久が原特別出張所  
03-3752-4271

【編集後記】

防災特集、春号では自助、在宅避難の備蓄は「1週間分」、あなたの備え点検して見て下さい。すぐわかる場所にありますか?夏号は近助と共助です。

災害時に救急車や家族とも連絡が取れない時、頼りになるのはお隣さん、お向かいさん、ご近所さんです。日頃のあいさつが大切です!自治会の防災訓練も地域の方々とふれあう良い機会です。助け合う気持ちも生まれます。

大竹恵美子

呑川さんぽ のんびり歩いて8000歩

第二京浜の池上橋から中原街道の石川橋まで2.5 km、往復5 kmの距離を歩いてみました。

歩数は約8000歩で、所要時間は1時間から1時間半くらいでした。健康維持に良いとされる「1日8000歩」について、大学などの研究グループは、週1~2日だけでも健康効果が得られる可能性があると言っています。私は夏は早朝か、夕方の涼しくなってから、500mlの水を持ってこまめに口の中を潤いながら歩いています。早朝には呑川にカモたちがゆったりと泳いでいます。

一昨年の7月にはカルガモの親鳥が8羽のひな鳥を連れて泳ぐ様子が見られました。カルガモの親は10~14個の卵を産み、抱卵期間26~28日、巣立ちまでは2か月近くかかり、生き残るのは3~5羽くらいだそうです。呑川にも亀やスッポンにナマズ、空からカラスと天敵がいます。

仲の橋から根方橋の間で、ランドセルくらいの甲羅のスッポンと、体長80cmほどのナマズを時々見ます。呑川にたくさんいるボラを食べて大きくなったのでしょうか...

呑川に生息する生き物や、川沿いの草木を眺めながら、今年は子育てしているカルガモと、可愛いひな鳥に逢えるのを期待しながら歩いています。

(大竹恵美子)

